

令和5年度「日本絹の里大学」受講生募集

今年も「日本絹の里大学」を開校します。
絹や蚕について専門家がわかりやすく解説いたします。
一緒に勉強しませんか！



《令和5年度カリキュラム》
(詳細は裏面をご覧ください)

期 日	講 師 紹 介
9 / 30 (土)	① 染織作家 (女子美術大学 講師) 岡田 教子
	② 岡谷蚕糸博物館 館長 高林 千幸
10 / 7 (土)	③ 蚕糸技術センター 蚕糸研究係 池田 真琴
	④ 桐染 代表 (染屋4代目) 平本 友里
10 / 21 (土)	⑤ 蚕糸科学技術研究所 副所長 栗岡 聡
	⑥ 養蚕体験・研修所「大丸屋」管理人 浅井 広大
11 / 4 (土)	⑦ 多摩シルクライフ21研究会 代表 内海 康治
	⑧ 元上毛新聞論説委員長 藤井 浩

※新型コロナウイルス感染症の発生状況により、開催日時や内容など変更する場合があります

- ◆会 場 日本絹の里 2階会議室
- ◆開講時間 13:30~15:50 (講義内容により時間が多少変わることがあります)
- ◆受講料 (教材費含む) 3,000円 (開校式当日に徴収いたします)
 - ・講義開催日は、特別展等の観覧料が受講生は無料になります。
 - ・受講年度の「日本絹の里紀要」を1冊差し上げます。
- ◆修了証書の授与 5講座以上出席された方には、日本絹の里館長から修了証書を授与いたします。
- ◆募集人数 先着50名
- ◆応募方法 往復ハガキの往信裏面に、①氏名(ふりがな)、②住所、③郵便番号、④年齢、⑤電話番号、返信表面に、ご自身の①住所、②氏名を記入のうえ、日本絹の里「日本絹の里大学係」あてにお申し込みください。

※切 令和5年8月28日(月)必着



日本絹の里
NIPPON SILK CENTER

〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1

TEL 027-360-6300 / FAX 027-360-6301

令和5年度「日本絹の里大学」カリキュラム

開催日	時間	講義題目	講師	講義内容
9月30日 (土)	13:30～13:40	開校式		
	13:40～14:40	つくること 伝えたいこと	染織作家 女子美術大学 講師 岡田 教子	絹を素材に糸を部分的に染め分け、タペストリー、着尺、帯を織っています。作品制作への思い、制作工程について、機織り教室や女子美術大学織コースで教えることを通して伝えたいことについてお話したいと思います。
10月7日 (土)	14:50～15:50	博物館活動から学ぶもの	岡谷蚕糸博物館 館長 高林 千幸	岡谷蚕糸博物館は2014年8月1日にリニューアルオープンし9年が経ちました(開館59周年)。ものづくり産業の発祥の地といわれた岡谷の製糸業等について、ご来館の皆様にご満足して頂くよう活動しています。そうした中で、お客様から頂いた感動の数々を述べます。
	13:30～14:30	「有機養蚕」への取組	群馬県蚕糸技術センター 蚕糸研究係 池田 真琴	近年、環境に配慮し、持続可能な社会を作っていくという機運が高まっています。蚕を育て繭を作る養蚕は、もともと環境への負荷が少ない農業ですが、群馬県蚕糸技術センターでは、これを一歩進めた「有機養蚕」について取り組んでいますので、紹介いたします。
	14:40～15:40	染色はデッサンと同じ～物を作らない選択～	桐 染 (染屋4代目) 代表 平本 友里	多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業後、グラフィックデザイン一として働いてきた私ならではのデザインマインドで見える染色経営について。今の時代に物を作る必要があるのか？染色はそれをどう人に伝えるかが大切。
	13:30～14:30	繭糸分離細繊維のない美しい絹を次世代へ	蚕糸科学技術研究所 副所長 栗岡 聡	繭糸分離細繊維は絹の品質を低下させる細くして厄介な繊維です。今も昔もこの繭糸分離細繊維の発生を完全に抑えることはできていません。繭糸分離細繊維のない美しい絹を求めて取り組み始めた、新たな挑戦をご紹介します。
10月21日 (土)	14:40～15:40	新規養蚕参入者7年の歩み	養蚕体験・研修所「大丸屋」 管理人 浅井 広大	県外から新規に養蚕参入を果たした者などのような経緯で養蚕農家として独立することができたのか。養蚕の魅力や苦勞、新規参入の大きな壁になっっているもの、今後の展望などを交えながらお話したいと思います。
	13:30～14:30	呉服業界の現状とその未来	多摩シルクライフ21研究会 代表 内海 康治	街の呉服店の三代目として、絹文化を伝える役割と生業としての商いを継続するうえで、大切に考えていることをお話したいと思います。また20年来お世話になっている「多摩シルクライフ21研究会」で学んだこととも関連づけて。
11月4日 (土)	14:40～15:40	絹産業遺産群に学ぶSDGs	元上毛新聞論説委員長 藤井 浩	世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産「田島弥平旧宅」「高山社跡」「荒船風穴」の養蚕に関わる技術に共通するのは、「自然に学ぶ姿勢」です。基本にあるのは、地球環境を守り、生命の安全を最優先する技術思想、利他の精神であり、多くは今日、国際社会共通の目標とされるSDGsとも重なっています。本講では、そんな視点で、先人たちの英知に新しい光を当てます。
	15:50～16:00	閉校式		